

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	草加市			代表者名	山川 百合子
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総合政策部情報推進課 ICT・市民サービス推進室	連絡先電話番号	048-922-1974
担当者役職	主事	担当者氏名	松下 勇也	連絡先E-mail	
住所	340-8550 埼玉県草加市高砂1丁目1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	ICT・市民サービス推進事業
概要	DX推進のため、市職員の意識向上と理解促進を目的とした研修を実施し、ICTを活用した業務改善・効率化に向けた機運を醸成したい。アドバイザーによる専門的な知識や経験の共有を通じ、DXの具体的な取り組み方法や成功事例について学ぶ機会を提供いただきたい。		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成)		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年11月20日	講演(実地)	9時30分	11時30分	10
				活動時間(分)	110
2-2.	会場名	草加市役所	最寄駅	草加駅	
派遣場所	所在地	埼玉県草加市高砂1丁目1番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	職員一人一人が何を考えどのように行動していくかという点を主眼に講義していただいた。国や市の計画・方針についての川口氏の見解を交えながら、WHY(何のためにするのか)、WHAT(何をするのか)、HOW(どうやってするのか)についての解説や、限られた資源や制約の中で成果を上げていく手法について、わかりやすく講義していただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	36人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	36	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	令和2年度から、市役所の窓口の電子化や、全庁的に活用が図られるAI関連ツールの導入など、情報推進課を中心にDXを進めてきたため、市役所の窓口や、市役所の事務におけるDXは、一定の取組成果が出ている状況となっている。しかし、少子高齢化の進展などを踏まえると、地域全体のDXが重要であり、これを進めるためには、草加市の政策部門、教育部門、まちづくり部門など、各部門の担当職員がDXのマインドを持ち、それぞれの業務において改革を進めていく必要があると考えており、職員全体のDXに対する意識向上をどのように進めていくかが課題といえる。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員向けにDXに関する計画発信や研修を行っても、各職員は、具体的には何をすればよいか分からない、どこから手をつければよいか分からない状態にあるように感じている。また、現在の意識としては、内部業務における効率化など、うちに閉じたICT活用の意識が強いと感じる。職員のDXマインドの醸成を図るとともに、地域全体が情報化による効果を楽しむことができるよう「職員が担う様々な業務において、地域におけるICT利活用を進めていくための道筋」を考える上での切っ掛けや示唆となるような研修を、アドバイザーの方に依頼する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・国や市の計画、方針に対して、「ジブンゴト」として考え、向き合っていくことについて講義いただいた。 ・合意したビジョン(状態)に基づき、どのような取組をしていくか、リカバリ策を講じる必要がある旨も交えて講義いただいた。 ・KPIとKGIの違いについて解説いただき、成果の保証がない中で小さなインパクト(変化)を繰り返していく重要性について講義いただいた。 ・生成AIの回答に関する考え方や、その回答に対する「決定」は職員であることを解説いただき、現在の生成AI何ができるかを動画を交えて講義いただいた。 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	「ジブンゴト」として考えることをテーマとした職員に寄り添った内容であり、機運醸成に繋がったと感じた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>アンケート実施中であり、現時点での分析はできていない。</p>	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
	今回の研修を受けて、策定中である当市のDX推進方針の方向性の検討及び、生成AIの調査・検討	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<p>職員全体のDXに対する意識向上を図り、各業務において、デジタル技術を活用した変革を意識して取組を進めることで、地域においてICTの利活用を進めていく基盤を構築する。</p> <p>「デジタル」というと温かみの無い感じがするが、本市では、デジタル技術により、人と人との心が通じ合うような形を目指しており、構築したICTの基盤の活用を図ることで、コミュニケーション手段を多様化、スマート化し、老若男女問わず全ての住民に優しく、必要な情報が届けられ、安心感が与えられるような社会の実現を目指す。</p>	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

